

平成28年度小笠原村立小笠原小学校

学校だより

9月号 (H28.9.1)

TEL 04998-2-2012

校長 西沢 盛和

夏休みの子供たちの活躍

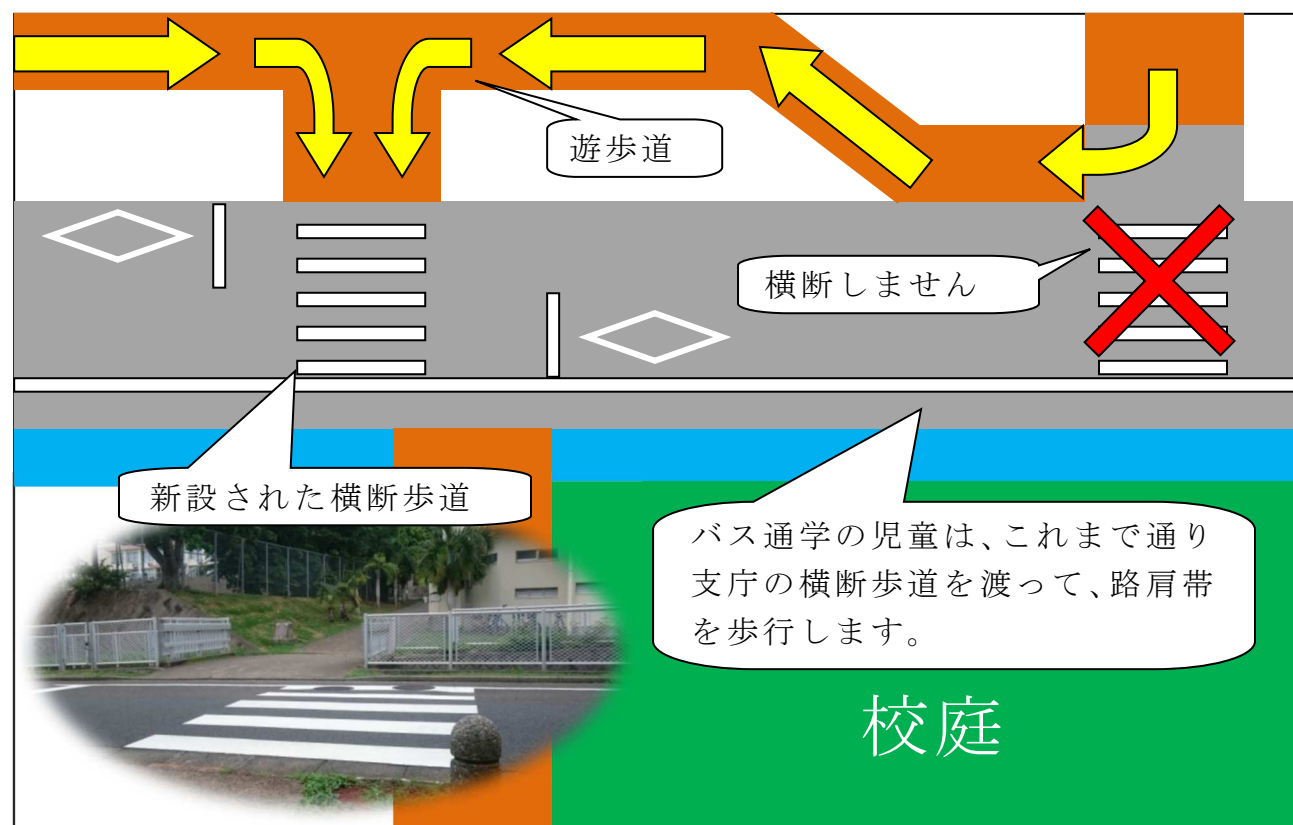
校長 西沢 盛和

夏季休業中の社会教育事業として、次のような催しが開催されました。7月23～24日少年野球「ファイターズ」杉並のチームと試合、7月25日日本武道館にて柔剣道錬成大会、7月28～30日「キッカーズ」小学生サッカー大会愛らんどリーグ、8月17～19日子ども体験塾などなど。これらの催しは、普段限られた島内の交流関係に慣れ切っている子供たちにとって、内地の子供たちや他の島の子供たちと交流する大変有意義な機会です。子供たちの野球や柔剣道などでの活躍、頑張った様子について話を聞くことができました。その中でも「キッカーズ」の愛らんどリーグでの活躍は目覚ましいものがあり、第3位に輝きました。準決勝は同点のままタイムアップとなり、PK戦の末惜しくも敗れ、決勝には進めなかったということです。もし決勝に進んでいたら…という思いが大きくなる素晴らしい試合だったと報告を受けております。子供たち自身も優勝しなかったという思いが強かったようで第3位という結果にも残念さを滲ませていました。今回のチームは試合に強かったというだけではなく、「キャプテンが黙ってシューズや道具をそろえて下級生がそれに倣うような良いチームだった」という話も聞きました。2学期の始業式では参加選手たちの健闘を称えて、賞状と大きなトロフィーを全校児童に紹介するとともに、改めて表彰をしました。

リオデジャネイロオリンピックの選手は皆が皆、自分の力を誇示するような言葉ではなく、自分を育て、支え、応援してくれた人々への感謝の気持ちを言葉にしていました。子供たちにも常日頃からサッカーを始め、野球や柔剣道、フラ、太鼓、ダンスなど様々な活動を支え教えてくださる地域の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、それぞれの活躍の場において、これからも大いに活躍してほしいと思います。と同時に、地域で育まれた力を学校生活の中でも大いに発揮し、勉学に励んでほしいと思います。

9月の行事予定		16	金	発育測定(5.6年) 小中高運動会合同練習 SC	
1	木	始業式 避難訓練 (村防災)	17	土	
2	金	SC	18	日	
3	土		19	月	敬老の日
4	日		20	火	全校朝会 ヨーグルト
5	月	全校朝会 弁当始	21	水	音楽集会 学校公開 (5校時) 保護者会
6	火		22	木	秋分の日
7	水	8、9月誕生日集会 安全指導	23	金	クラブ活動 SC
8	木	ヨーグルト飲料	24	土	
9	金	水泳指導終 委員会活動	25	日	PTA ノロ落とし
10	土		26	月	朝会
11	日		27	火	運動会予行練習
12	月	全校朝会 運動会特別時程始	28	水	運動集会 芝生スポの日
13	火		29	木	
14	水	ゲーム集会 芝生スポの日	30	金	5時間授業 ヨーグルト SC
15	木	発育測定(1~4年)			

小中学校前に横断歩道が新設されました



バス通学の児童は、これまで通り支庁の横断歩道を渡って、路肩帯を歩行します。

学校前の遊歩道がつけられたのがいつのことなのか分かりませんが、私が着任した平成26年以前から小中学校の正面に横断歩道があれば、学校側の路肩帯でなく、子供たちに遊歩道を通行させることができ、より安全な登下校をさせることができるのではないかと話があったようです。「学校正面に横断歩道がなければ遊歩道は結局使用されない。これはおかしいことだ。学校はそれでよいのか？」と、私も幾度かそのような話をいただきましたが、なかなかどうすることもできずにいました。今回、PTA会長吉井さんのご尽力を始め、村教育委員会、地域の方々のお力添えのおかげで、小笠原警察署によりこの夏学校前に横断歩道が新設されました。

これに伴い、2学期より子供の歩行ルートを変更いたします。宮之浜道方面から登校する場合、中学校側の横断歩道を渡ることなくそのまま小中学校前まで遊歩道を歩いて来て新設された横断歩道を渡ります。東町のレンガ道から学校前の道路に出るところも横断せずにそのまま遊歩道に入り新設された横断歩道を渡ります。(上図を参照のこと)

ただし、バス通学の子供たちはこれまで通り支庁前で横断歩道を渡り学校側の路肩帯を歩行するという変更ありません。支庁前で横断しないと総合事務所側は路肩帯がなく危険なためです。

以上のように登下校の歩行ルートを変更いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

運動会 ―組体操にかわる達成感と感動を―

以下は、5月に送られた小笠原村教育委員会からの保護者宛ての通知文です。

小笠原村立学校における組体操について

小笠原村教育委員会では、児童・生徒の安全の確保を最優先に考え、以下のとおり組体操について基準を決定しましたので、お知らせいたします。

小笠原村立学校において組体操を実施する場合は、以下の基準を踏まえること。

- タワー及びピラミッドは行わない。
- サボテン、肩車、トーテムポール、飛行機、トラストフォール、大車輪、ロケットなど、土台となる側が、立ったままの姿勢で、膝より上の部位（膝、腰、背中、肩等）で、相手を支える技は行わない。
- ウェーブなど個々の人の足又は手が地面について行われている技や、サーフィン（一段の四つんばいになった馬の背中に一人が立って乗る技）などは可とする。

このことについて、各地で事故が続いたことから、文部科学省や東京都などからそれぞれ方針が示されている状況にあります。小笠原村立学校においては、これまでも組体操を指導する場合は安全教育の視点を踏まえ、丁寧に段階的に指導を行ってまいりました。しかしながら、村立学校においても組体操練習中の事故が発生しております。このような状況等を踏まえ、児童・生徒の安全の確保を最優先に考え、この度基準を設定いたしました。よろしく御理解、御協力の程、お願い申し上げます。

近年、全国的に組体操の危険について批判が高まり、昨年度あたりから東京をはじめ多くの教育委員会が規制に乗りだしました。すると、今度は教育委員会の規制に対して批判的な言動が見られるようになってきました。私は校長として、運動会における組体操が見栄えのする方向にどんどんエスカレートしており、失敗した場合には子供の生涯にわたって重大な障害を残すような事故にもなりかねないことに危機感をもっています。本校でも一昨年、練習中に落下事故を起こしています。幸い大けがには至りませんでした。その反省に基づき、昨年度はタワーの個数やピラミッドの段数など自主規制し、できる限りの補強を付け、最大限の安全を図って臨みました。ですから、今回の村教委による組体操の規制は、あって然るべきことだと受け止めています。

東京大学教授本田由紀先生（教育社会学）は次のように述べています。「組体操は子どもや保護者に「感動」を呼ぶイベントとして、いつの間にか学校に普及したものである。しかしその「感動」は同時に無謀なリスクや多様性の排除を含みつつ、その場にいる全員に同調を強いるものにもなりかねない。教育現場にそのような危険性への鈍感さが蔓延していることの表れかもしれないのである。」

運動会において、組体操は目的ではなく、「感動」を得るための一つ的手段にすぎません。目的はあくまでも子供たちの集団達成による「感動」です。組体操は「感動」を実感しやすく、そして「感動」が伝わりやすい表現なのかもしれませんが、無謀なリスクを含むものであるならば別な手段を模索することこそ、教育の果たす役割だと考えます。そしてその教育効果は、子供たちの頑張りが地域・保護者に承認されることによって高まります。

今回、私が皆様をお願いしたいことは、組体操ではない子供たちの集団表現に対して、温かく見守り応援していただきたい、そして組体操に勝るとも劣らない「感動」を共有していただきたいということです。もちろん学校もこれまで以上に頑張っ臨みます。

皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

<生活目標>

担当 岡崎 友美

○生活にけじめをつけよう

2学期が始まりました！みなさん、「早寝早起き朝ごはん」はできていますか？生活リズムを整え、元気に登校しましょう。

また、学校はみんなで一緒に学習し、生活する場です。みんなが気持ちよく過ごせるよう、「登校時刻やチャイムを守る」「ルールを守る」「忘れ物をしないように工夫する」など、けじめのある生活を自分から心がけていきましょう。

<安全指導>

担当 岡崎 友美

○自然災害時の避難場所を知ろう

○階段や廊下を静かに歩いて、教室移動をしよう

本校では災害時に備え、引き渡し訓練を通して避難場所の確認を行っています。ご家庭でも避難場所について再度ご確認ください。

また校内において、怪我を防ぎ、次の授業の心の準備もできるよう、移動時の階段・廊下の歩き方も指導していきます。

外国語活動

外国語活動担当

清水 智

活動時間

1年生：朝(火、金)・スキルタイム(月)

2年生：朝(木)・スキルタイム(火、金)

3年生：5時間目(火)

4年生：1時間目(火)

5年生：2時間目(火)

6年生：4時間目(火)

ジャック先生による外国語活動は、子供たちに大人気です。左記の時間で実施していますので、ぜひご覧になってください。

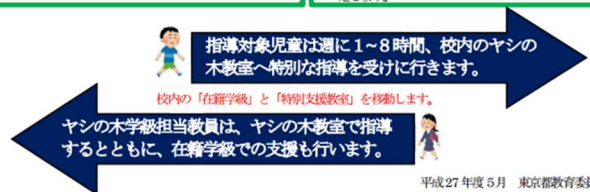


ヤシの木教室

担当 清水 智

通常の学級には、学習に困難のある児童、行動のコントロールが難しい児童、対人関係にトラブルが生じやすい児童等、自らの力だけでは解決が難しい様々な悩みや課題のある児童がいます。

ヤシの木教室では、そのような児童に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、児童の持てる力を高め、生活や学習上の困難さを改善するための「自立活動」や「教科の補充指導」を行っています。



平成27年度5月 東京都教育委員会

3年生の紹介

3年担任 木村 隆志

今年度の3年生は、男子17名、女子14名の計31名でスタートしました。2学期に入って転出入があり、現在は男子16名、女子15名の計31名になりました。学級目標は、「自分で考えてけじめを付けられて、素早い行動ができる3年生」「優しく元気で、キラキラスマイルな3年生」です。

団結していくごとに、素晴らしいパワーを身に付けていけるクラスです。2学期には行事が多くあるので、力を発揮していきましょう。自立して自律できる3年生を目指して頑張っています。

